

さんふらわあくれない・むらさき 部屋選びの指南



かんたんのゆめ NT/fiv
http://kantanbay.org
2023/5/21 関西コミティア発行

◆部屋の種類が多すぎるんよ

フェリーさんふらわあ別府大阪航路の新造船「さんふらわあくれない」投入からかれこれ5か月が経った。4月には予定通り姉妹船の「さんふらわあむらさき」もデビューし、無事に旧型船の置き換えが完了した。

さて、今回の新造船はとにかく部屋の種類が多い。大分航路のごとど・ばーが6種類、鹿児島航路のさつま・きりしまが10種類に対して、なんと18種類も設定されている。予約時にもずらずと選べる部屋が並んでどれがええねん！？となってしまうだろう。

自分自身まだ今回の関西コミティア遠征を合わせて計4回しか乗船機会を得られていないが、5月の見学会に参加したことで上等個室の見学機会を得られたのと、各個室のインドアビューが追加されて部屋の中を隅々まで確認できるようになったこともあり、今回は無限にある新造船の部屋の詳細な紹介をしたいきたい。

●スイート（最上等級・特等相当）

船の中で一番いい部屋。バリアフリー以外はバルコニーもついており直接船の外にも出れる。バスタブはこのクラスにのみついている。お茶菓子の他ミネラルウォーターとスパークリングワインがおまけについてくる。

またこのクラスでは6階にあるラウンジが使えるようになっており、コーヒーとアイスが食べ放題のサービスもある。(▽ラウンジ)



○スイートと洋室コネクト・未結合（2～4名個室）



ベッドと別に畳敷きスペースもあり、一番いい部屋の中の一のいい部屋。なのだが、わずか2部屋しかなくさらに基本は隣の部屋とコネクト運用を前提としているため単体で取れる確率はちょっと低い。

大阪→別府航路 Osaka Beppu Sea route		A期間	等級差額	B期間	等級差額	C期間	等級差額	D期間	等級差額
プライベートベッド private bed		13,510円	—	14,510円	—	18,510円	—	19,510円	—
グループ和室(3名/4名定員) Japanese style(3/4person)		13,510円	—	14,510円	—	20,510円	2,000円	21,510円	2,000円
プライベートシングル private single		14,510円	1,000円	15,510円	1,000円	22,510円	4,000円	23,510円	4,000円
プライベートツイン private twin		14,510円	1,000円	15,510円	1,000円	22,510円	4,000円	23,510円	4,000円
プライベートシングルツイン private single twin		15,010円	1,500円	16,010円	1,500円	22,510円	4,000円	23,510円	4,000円
プライベートベツグループ private bed group		14,510円	1,000円	15,510円	1,000円	22,510円	4,000円	23,510円	4,000円
スタンダードシングル Standard Single		16,510円	3,000円	17,510円	3,000円	24,510円	6,000円	25,510円	6,000円
スーパーアシングル Superior Single		20,510円	7,000円	21,510円	7,000円	29,510円	11,000円	30,510円	11,000円
スーパーアツイン Superior Twin		20,510円	7,000円	21,510円	7,000円	29,510円	11,000円	30,510円	11,000円
デラックス deluxe		23,510円	10,000円	24,510円	10,000円	35,510円	17,000円	36,510円	17,000円
デラックス和室 deluxe Japanese style		24,510円	11,000円	25,510円	11,000円	36,510円	18,000円	37,510円	18,000円
コネクトデラックス(結合) Connecting Deluxe (link)		22,510円	9,000円	23,510円	9,000円	33,510円	15,000円	34,510円	15,000円
デラックスコネクト(単利用の場合) Deluxe Connect(for single use)		23,510円	10,000円	24,510円	10,000円	35,510円	17,000円	36,510円	17,000円
セミデラックスコネクト(単利用の場合) Semi deluxe connect(for single use)		21,510円	8,000円	22,510円	8,000円	31,510円	13,000円	32,510円	13,000円
セミスイート Semi suite		26,510円	13,000円	27,510円	13,000円	38,510円	20,000円	39,510円	20,000円
スイート・スイートバリアフリー Suite・Suite Barrier free		29,510円	16,000円	30,510円	16,000円	41,510円	23,000円	42,510円	23,000円
コネクトアシングル(結合) Connecting single (link)		28,510円	15,000円	29,510円	15,000円	40,510円	22,000円	41,510円	22,000円
セミスイートコネクト(単利用の場合) Semi suite connect(for single use)		26,510円	13,000円	27,510円	13,000円	38,510円	20,000円	39,510円	20,000円
スイートデラックスコネクト(単利用の場合) Suite deluxe connect(for single use)		30,510円	17,000円	31,510円	17,000円	42,510円	24,000円	43,510円	24,000円
エキストラベッド(1名1席) Extra bed (uniformly)		13,510円	—	14,510円	—	18,510円	—	19,510円	—
ウィズペットルーム With pet room		—	+8,700円	—	+8,700円	—	+12,800円	—	+12,800円

△港にある料金表。なんじゃこりゃ。

○スイート（2～3名個室）



ごくベーシックな一番いい部屋。ベッドは二つで窓際のソファはエキストラベッドとして使える。

○セミスイート

○セミスイートコネクト・未結合（2～3名個室）



セミ (Semi) ということであまり狭い部屋。スイートと 3000 円差と考えれば悪くないかも。コネクトとの差は隣へつながる扉があるかどうか程度。

○コネクティングスイート（4～7名個室）

隣り合うセミスイートコネクトとスイートと洋室コネクトを専用の扉を開けて合体させたもの。ベッド4台にエキストラベッドを合わせて最大7人が泊まれる。とはいえ二部屋が扉を介して繋がっているだけなので… トイレが二つあるので緊急時も安心（外にもあります）シャワーが二つあるので…（外にもあります）

○スイートバリアフリー（4名個室）

車椅子対応のスイート。実はタイトル部分の写真はこの部屋で、スイートと洋室コネクトを抜いて船の中で一番広い部屋である。ただ当たり前ではあるが、あくまでもこの部屋が必要な方優先である。

●デラックス（上等級・1等相当）

おもむね普通のホテルの部屋。はじめてのフェリーならここを最低限にしたほうがっかりしないだろう。バスタブはないがシャワーとトイレは部屋についてくる。お茶菓子の他ミネラルウォーターが人数分ついてくる。

○デラックス・デラックスコネクト・未結合（2～3名個室）



隣のセミスイートとの間違い探してみたいになったが、設備上はバルコニーとバスタブが無い程度である。窓際のソファはエキストラベッドとして使える。

○デラックス和室



○セミデラックス和室コネクト・未結合（4名）



デラックスの和室。ベッドがないので部屋を広く使える。広さはDX和が8畳、セミDX和が6畳。セミデラックス和室コネクトは寝床がマットになるのでこし寝心地が落ちるかもしれないので注意。その分デラックス和室より安く設定されているので気にならない人にはよさそう。

○コネクティングデラックス（4～7名個室）

隣同士のデラックスコネクトとセミデラックス和室コネクトを専用の扉を開けて合体させたもの。こちらも最大7人が泊まれる。

●スーパーリア（1等相当）

ビジネスホテル程度の設備があり、シャワー・トイレ・冷蔵庫・個別空調・ナイトウェアが設置されている。狭いものの机と椅子のセットも用意されており、何らかの作業をしたい人にも良い（この船の公室には机がないのだ）。なお窓はなく携帯電波は入らないので注意。なおこの部屋の辺りはエンジンからも遠く静寂性がけっこう高い。

○スーパーリアツイン



ぶっちゃけ何も変哲のない個室である。窓もないので正直もう少し足してデラックスにしたほうが満足度は高いと思う。観光用途で乗るのであればなおさら。

○スーパーリアシングル



一人乗船で予約可能な最上級の部屋。従来の船ではスタンダードシングル相当のものしかなかったので進化している。スタンダードシングルで十分という人も多そうだが同室はめったに売られないので、ちゃんとした個室に乗りたければこの部屋を取るしかない。



●プライベート（2等相当）

相部屋の簡易個室およびベッド席が該当。ただしプライベートベッドグループについては実質個室。そして本来グループ和室もこの分類じゃないかなあ…（ややこしい）
なお全ての部屋が内側に位置するため電波は入らない。

○プライベートシングル（1名簡易個室）

○プライベートシングルツイン（1～2名簡易個室）

○プライベートツイン（2名簡易個室）



一見個室であるが部屋の入口がアコーディオンカーテンになっていて防音性が低い。部屋の中からは施錠可能であるが外からの施錠はできない。そして机はあるが椅子はない。ちょうど今の原稿をベッドに座りながら書いているが正直しんどい。作業目的ならスーパーリアにしたほうが快適。（ちなみに食堂が夜間開放されていることに気づいて事なきを得た）

ベッド席+1000円に設定されているのでお得な部屋ではあるが、18室しかないので早めに狙わないとなくなりやすい。シングルツインは片方がソファ（エキストラベッド）となっていてベッド席+1500円に設定されている。

○プライベートベッド（相部屋ベッド席）

この船にはエコノミー（雑魚寝）の設定がないのでプライベートベッドがこの船で一番安い席となる。ごくごく一般的な相部屋のベッド席であるが、他航路に比べてUSBコンセントが追加されているなど地味なアップデートはされている。部屋の前に無料ロッカー、部屋内に更衣室が用意されている。

○プライベートベッドグループ（4名個室）



プライベートベッドを二段ベッド二個分で個室化した部屋。洗面台と椅子はあるが机はない。プライベート扱いだが部屋にちゃんと鍵がかけられるようになっており、実質は普通の個室。

ほぼ無駄なスペースはないので四人で大荷物を持ち込むとちょっと狭くなりそう。

●その他

○スタンダードシングル（1名個室）



1名定員の基本的な
シングル（ちゃんとし
た個室）だが、ドライ
バーズルームを兼ねて
いるからかめったに一
般販売されない。

○グループ和室（3～4名簡易個室）



船の中でなんとなく浮いた名前の部屋なのだが、少人数の雑魚寝部屋を個室化した感じの部屋。部屋の入口が簡易なものであるが、一人当たりの値段がプライ

ベートベッドと変わらないのでリーズナブルに個室を使えるのは良いかもしれない。ただし事実上の半個室であり防音が弱いので、あまり騒いであつてしまふと他の部屋の迷惑になりそうだ。構造的にエコノミー予定地を設計変更したようにも見える。

◆あとかき（燧灘0：45より）

そんなわけで概ね紹介できたように思う。もしまだよくわからんというところがあれば、フェリーさんふらわあ公式サイトのお客案内でGoogleストリートビューを利用したインドアビューで部屋を360°なめまわすこともできるのでそちらをご利用いただきたい。

なおこの原稿の半分は、昨日から今日の深夜にかけて別府発のさんふらわあくれないの船内で書かれたものである。最初はプライベートシングルのしょぼい机でなんとか書いていたが、しんどくなったので公室をうろうろしたところ、深夜は旧船と同じようにレストランの開放をしていることに気づいた。これで勝つ。

レストラン営業終了後の22時頃からとなるが、ちゃんとした椅子と机、そして窓のある場所で作業できるのはたいへんありがたい。

